北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 （整理番号）	僧帽弁閉鎖不全症に対する外科治療についての単施設前方視･後方視的研究　（B23-063）
当院の研究責任者 （所属・職位）	医学部心臓血管外科学　講師　嶋田正吾
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	僧帽弁閉鎖不全症は心不全を引き起こし、寿命を短くする疾患で、外科手術により予後を改善することができます。手術としては、以前は人工弁置換を行うことが多かったのですが、近年、自己弁を温存する弁形成術を行うことで、さらに予後が改善することが報告されています。また、手術アプローチも、従来の胸骨正中切開のみではなく、右小開胸アプローチや胸腔鏡手術、ロボット手術などが登場し、術後早期成績が改善しています。この研究では、僧帽弁閉鎖不全症において、どのような病態の場合にどのような手術をすべきか、また、それぞれの手術法で長期予後が異なるのか、を明らかにすることを目的とします。
調査データ 該当期間	2011 年 4 月 1 日から 2028 年 6 月 30 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	北里大学病院において、2011 年 4 月 1 日から 2027 年 12 月 31 日までの間に僧帽弁閉鎖不全症に対する外科手術を受けられた患者さん
研究の方法 （使用する試料等）	利用する情報 2011 年 4 月 1 日から 2028 年 6 月 30 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料･情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究の遂行のための費用は、心臓血管外科学の医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

	また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：心臓血管外科・講師 担　当　者：嶋田正吾（シマダショウゴ） 電　　話：042-778-8111
備　考	